

学生担当者報5

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 清水慶政 編集責任者 / 中山祥吉

Vol. 435 立教 186 年 2023 年 4 月 25 日発行

TEL 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp

TSA Website <https://tsa.tenrikyo.or.jp> Happist <https://happist.net>



立教百八十六年 春の学生おぢばがえり
harugaku 186. 3. 28

3月28日、暖かな日差しが降り注ぐ中、本部中庭にて「立教百八十六年 春の学生おぢばがえり」式典を開催し、道の学生二千三百十四名が参加しました。(3月29日集計 帰参報告に基づく。※インターネットによる帰参報告のため報告漏れあります。)

当日は、真柱様より学生に向けた親心あふれるメッセージ(代読)を戴き、今後の道の学生の歩み方をお示しいただきました。

また、奥様、大亮様、布恵様をはじめ来賓の先生方のご臨席を賜り、次代を担うようぼくへと成人することをお誓い申し上げました。

なお、本年は前日の27日に「回廊拭きひのきしん」の受け入れと「おたのしみ行事」を行いました。各地から帰り集う学生がおぢばに伏せ込み、親睦を深める場として笑顔あふれる時間となりました。

教区、直属の担当の先生方にはそれぞれのお立場の中、学生のお世話取りにご尽力いただき誠にありがとうございました。

令和5年 学生担当委員会 活動方針
「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」

立教 186 年 4 月 25 日

お知らせ

五月例会

期日…立教 186 年 5 月 25 日
時間…15 時 30 分受付 16 時開始
会場…38 母屋 9 階大広間

学生層育成者講習会

日程・会場案内

教区	期日	時間	会場
・宮崎	5月1日 10 時	教務支庁	
・福岡	5月1日 11 時	教務支庁	
・直属	5月2日 12 時	大教会	
・日本橋	5月6日 11 時	大教会	
・高松	5月7日 11 時	大教会	
・都	5月13日 11 時 30 分	大教会	
・本愛	5月18日 10 時	大教会	
・高知	5月20日 11 時	大教会	
・越知	5月21日 12 時 30 分	大教会	
・都賀	5月21日 12 時 30 分	大教会	
・紀陽	5月22日 12 時 30 分	大教会	
・中津	5月22日 12 時	大教会	
・岐美	5月22日 11 時	大教会	
・南紀	5月23日 11 時 40 分	大教会	
・西宮	5月23日 11 時 40 分	大教会	

報告

三月例会

去る3月25日、教庁4階講堂において「3月例会」を開催。出席は17教区、92直属。

各地の動き

・防府	5月23日 12 時	大教会
・東海	5月23日 11 時 30 分	大教会
・五條	5月23日 11 時 45 分	大教会
・大原	5月23日 13 時	大教会
・明城	5月23日 9 時	大教会
・櫻井	5月24日 12 時	大教会
・島ヶ原	5月24日 11 時 30 分	大教会
・治道	5月24日 12 時	大教会
・肥長	3月18日 大教会	
・山陽	3月21日 大教会	
・小西祥治委員出向	80名	
・中山祥吉副委員長出向	67名	

人事

《立教 186 年 3 月 25 日付》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・多田真康(名東・蔵本)
・布野真理(小牧・音江)

業務記録

《立教 186 年 3 月 16 日～4 月 15 日》

3月18日	事務局連絡会
25日	委員会 例会
28日	人材育成部部会
4月7日	広報室会議
8日	学修大学の部研究室
9日	学修高校卒業生コース研究室
10日	春の学生おぢばがえり
11日	プロジェクトチーム会議
9日	委員会
10日	学修高校の部研究室
11日	学生連絡会
11日	事務局連絡会
11日	勉強会チーム会議
11日	まなびばチーム会議

次代を担うようぼくへ

立教百八十六年 春の学生おぢばがえり 実行委員長挨拶 大岩恵那



今日は、奥様、大亮様、布恵様のご臨席を賜り、来賓の先生方をお招きして、ここに「立教百八十六年 春の学生おぢ

ばがえり」式典を開催できたこと、心より感謝申し上げます。みなさん、ようこそおぢばにお帰りくださいました。

私たち道の学生は、「次代を担うようぼくへ」をスローガンに掲げ、道の学生成人目標を胸に、仲間と助け合いながら一日一日、成人への道を歩んできました。新型コロナウイルスのふしを見せていただいてから、今までと違った生活を送るようになり、苦しい思いをするときもありました。しかし、このふしから、今まで当たり前だと思っていたことが本当は当たり前ではないと気づき、日々親神様のご守護によって生かされていることをとてもありがたく思いました。この1年間、身の回りにはありがたいことが溢

れているということに気づかせていただく一方、成人への道を歩んでいく上でまだまだ未熟な私は、心が折れそうになることもありました。そのような時に、一番心の支えとなったのは、一緒に歩む仲間の存在です。時にはぶつかり合い、時には助け合い、励まし合いながらも結構に通らせていただきました。これからも、決して楽しいばかりの道ではないと思います。でも私は、教祖のひながたをたどり、感謝とたすけ合いの心を忘れずに仲間と一緒に笑顔で通らせていただきたいと思います。みなさんも、仲間と手を取り合い、日々の生活に感謝し、教祖の教えを心において、ともに楽しみ勇んで通らせていただきますよう。

只今から、真柱様より私たち道の学生に向けて、メッセージを頂戴いたします。私たちがこれから歩む中で大切な指針となります。真柱様から頂戴するお言葉を通して、をやの思いを心に治め、共に次代を担うようぼくへと成人していくことを誓い合いましょう。

決意表明

立教百八十六年 春の学生おぢばがえり 中臺理生之助



今日は、「立教百八十六年 春の学生おぢばがえり」式典を無事に開催することができた

ことを心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。私たち道につながる学生は、先ほど頂戴した真柱様からのメッセージを心に治め、一つ一つに成人の道を歩ませていただきます。日々生活していく中で、楽しいこともあれば、つらいと感じることもあります。どんな時でも、親神様の教えを心に治めて過ごすことで、親神様のご守護に感謝し、たとえつらい時でも楽しんで前向きに通らせていただきます。新型コロナウイルス感染症による規制が少しずつ緩和され、みんなと会うことがだんだんとできるようになり、直接会って話すことの嬉しさや有り難さを改めて実感しました。このふしを通

して、普段何気なく生活できることは当たり前ではないと感じさせていただくことができました。だからこそ、日々生かされていることの喜びに気づき、どんなつらい中でも心明るく通り、感謝の気持ちでおつとめやひのきしんを实践していきます。また一人では難しくても、周りを見れば仲間はたくさんいます。学生同士互いに声を掛け合い、楽しいことは分かち合い、つらいことは一緒に悩み、共に助け合って、心明るく笑顔で楽しみながら通らせていただきます。

今年から教祖百四十年祭の年祭活動が始まりました。今日おぢばに帰り集った仲間、そして、道につながるすべての仲間と共に、教祖のひながたをたどり、日々頂戴しているご恩への感謝を忘れず、次代を担うようぼくへと成人していくことをここに決意します。

青空

先日、布教の家の寮生中に、別席を運んでくださった方とやり取りをしていました。その方は、別席を運んでいただいた時は20代とお若く、何か困ったことや悩んでいることもないとのことでしたが、ご縁を感じていただきおぢばに帰ってくださいました。

当時私は、何もなおぢばに帰ってくださる方への神様の思いがわからず、育成員の先生にお尋ねしました。すると先生は、「ようぼくが会おう人には必ず神様のたすけてやってほしいという思いがある。今は何もなくても、先々で何かきつと神様を必要とされることがあるから神様の話をしっかりしてつないでいきなさいよ。」とのことでした。

卒業してから2年経った今、その方はいつ病になり休職されています。1度でいいとおっしゃっていた方がまたおぢばに、神様に引き寄せていただきました。どんな出会いも必ず神様の思いがあることを改めて感じさせていただき、これからも真実の心で親の思いを伝えさせていたきたいと思っています。

人材育成部員 坂元香